

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	子育て応援「情報発信★強化事業」		
予算額	364	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 京田辺市では、各種子育て応援事業を実施しているにも関わらず、その情報が市民に届いていないことなどにより、「事業自体を知らなかった。利用したことがない。もっと早く知りたかった。」といったご意見が寄せられることが多くあります。令和6年度の「京田辺市こども計画」策定手続における審議過程やパブリックコメントにおいても、情報発信が課題であることが浮き彫りになり、計画を推進するにあたって、情報発信の強化に取り組むことを掲げたところです。</p> <p>令和7年から計画を推進するにあたり、子育て応援「情報発信★強化事業」をゼロ予算事業としてスタートし、令和7年10月にInstagram「はぐはぐ子育て応援★京田辺市公式アカウント」の配信をスタートしました。</p> <p>○ 事業概要 令和8年度は、より効果的な情報発信に取り組むべく、必要な機材等の費用を購入するとともに、画像編集の有料アプリを活用することで、人件費を抑えながら、発信内容の充実をはかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費（消耗品費） 50千円</li> <li>・役務費（通信運搬費） 77千円</li> <li>・備品購入費 237千円</li> </ul>		
			
担当所属名	こども未来政策推進室	直通電話番号	64 - 1350

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	こどもまんなか児童福祉週間事業		
予算額	1,840	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 地域社会、行政、関係機関等が一体となって、児童福祉週間イベントを企画・運営する。 これにより、社会全体でこども・若者やその家族等を応援する気運の醸成を図ることで、「こどもまんなか社会」の実現を目指す。</p> <p>○ 事業概要 こどもまんなか児童福祉週間行事 地域・行政・関係機関などが連携した、こども・若者が主役となり安心して楽しめるイベントを京田辺クロスパーク（タナクロ）で開催。 市民等にステージイベントの出演や、テントブース出店を募り、参加型のイベントを実施。 また、小さなこどもや家族だけでなく全年代が楽しめるように、開催内容やイベント時間を拡大し、気軽に立ち寄ることができるイベントにします。</p> <p>～昨年度からの拡充内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光大使を招き、ステージイベントの実施</li> <li>・イベント開催時間の拡大</li> <li>・ステージイベントやテントブース出店の変更</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		
担当所属名	こども未来部 子育て支援課	直通電話番号	64 - 1376

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	ひとり親家庭学び直し支援事業 ( (旧) ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業)		
予算額	400	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 ひとり親家庭の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、正規雇用を中心とした就業につなげるために、子育てが一段落した後の将来を見据え学士号等を取得する場合の大学授業料等の一部を助成する。</p> <p>○ 事業概要 ひとり親家庭の親が学士号等を取得する場合に大学の入学金や授業料を支援する。</p> <p>&lt;対象者&gt; ひとり親家庭の親であって、次の要件の全てを満たす者 ①子育てが一段落した後の将来を見据え、学士号等を取得することが適職に就くために必要と認められること。 ②自立に向けた計画（母子・父子自立支援プログラム）の策定等を受けていること。</p> <p>&lt;内容&gt; 就学年数×上限40万円 ①入学金の6割相当 ②授業料の6割相当</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div>		
担当所属名	こども未来部 子育て支援課	直通電話番号	64 - 1376

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	プレコンセプションケア普及事業			
予算額	70	千円	新規・拡充 継続の別	新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>プレコンセプションケアとは、「性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康管理を行う」という概念である。 全ての市民が、発達段階や状況に応じてその概念を知り、それに関する知識について適切に身につけることを目指す。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>対象：すべての京田辺市民等</p> <p>内容：</p> <p>(1) プレコンセプションケアに関する概念の普及 ホームページやSNS等の活用、また、母子保健事業（産前・産後サポート事業「はぐはぐカフェ」等）においてプレコンセプションケアの概念の普及を図る。</p> <p>(2) 妊娠・出産・子育てに関する各種相談対応 相談対応にあたる職員への研修等の機会を確保し、プレコンセプションケアの概念を十分に活かした相談対応等を行う。</p> <p>(3) 親子を対象とした講座の実施 年に2回、小学生の親子を対象とした講座を開催し幼少期からプレコンセプションケアについての概念や知識の普及を図る。</p> <p>○ 予算措置 (報償費) 26,000円 (需用費) 44,000円</p>			
	<p style="text-align: right;"><b>いままぜ プレコンセプション ケアなの？</b></p> <p>① リスクのある妊娠の増加 若い女性のやせと肥満の増加、出産年齢の高齢化などから、リスクの高い妊娠が増加しています。プレコンセプションケアを行って、妊娠前にリスクを減らしていくことが、健やかな妊娠・出産や生まれてくる赤ちゃんの健康につながります。</p> <p>② 不妊の増加 「生理不順を放置していた」「生理痛がまんしていた」などが将来の不妊の原因となることがあります。妊娠や出産に関する正しい知識を得て行動し、将来の不妊のリスクを減らしましょう。</p> <p>③ 人生100年時代を生きるために 子どもを持つ選択をするかしないかにかかわらず、プレコンセプションケアを実施することで、より豊かな人生につながるでしょう。</p>			
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64	— 1377

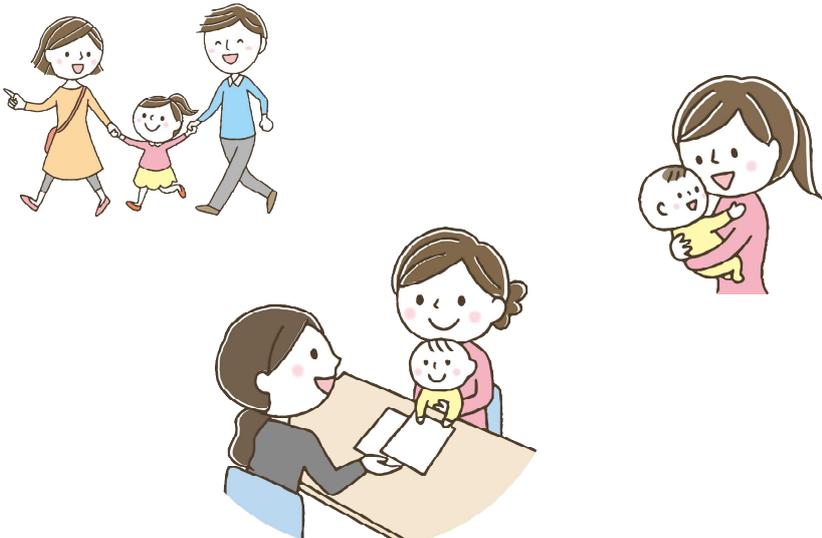
## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	産後ケア連携強化事業		
予算額	175	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>産後ケア事業短期入所型を利用される方のうち身体的、精神的な状況等からリスクが高く（医療が必要な場合を除く）、支援の必要性が高いと判断される場合について、リスクアセスメントを行い、委託医療機関と連携、調整し、個々の状況に応じた必要な支援を行うためのサポート体制を整える。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>産後ケア事業において、特に身体的・精神的な状況等からリスクが高く、支援の必要性が高いと判断される方については、アセスメントを行い必要性を判断した上で、委託医療機関との連携を強化する。</p> <p>そのため、医療機関において、よりきめ細かい産後ケアでのサポートを実施するため、産後ケア事業の委託料において、支援の必要性が高い方の受け入れを対象とする加算を導入する。</p> <p>・一回の利用につき、短期入所型7,000円（通所型は3,500円）を加算する。</p> <p>○ 予算措置 (委託料) 175,000円</p>		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1377

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	京田辺市子育て世帯訪問支援事業		
予算額	3,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的 家事・子育て等に不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスクの高まりを未然に防ぐ。家庭の状況等に応じて、妊産婦から子育て世帯まで、切れ目のない支援を実施する。</p> <p>○ 事業概要 【対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産前・産後（※産後1年間）に特に支援が必要な妊産婦</li> <li>・生活環境や養育状態に特に支援が必要な子どもとその保護者</li> <li>・支援が必要なヤングケアラー等</li> </ul> <p>【支援内容】</p> <p>(1) 産前・産後型の支援（従来の産前・産後ヘルパー派遣事業を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買物の代行やサポート、等）</li> <li>・育児支援（乳児の育児のサポート）</li> </ul> <p>(2) 連携型の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買物の代行やサポート、等）</li> <li>・養育支援（育児のサポート、保育所等の送迎、外出時の補助、等）</li> </ul> <p>(3) 産前・産後型と連携型に共通する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する不安や悩みの傾聴、相談・助言（専門的な内容を除く。）</li> <li>・地域の母子保健施策、子育て支援施策等に関する情報提供</li> <li>・対象者の状況、養育環境の把握、市への報告</li> </ul> <p>(4) その他、市長が必要と認める支援</p>		
			
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 - 7230

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	利用者支援事業（基本型）の実施		
予算額	5,345	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>子育て家庭等から日常的に相談を受け、個別のニーズ等に基づいて、子育て支援に関する情報の収集・提供、子育て支援事業や保育所等の利用に当たっての助言・支援を行い、利用者が必要とする支援につながるよう、地域の関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくりを行うことを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>子育て支援課において、利用者支援事業（特定型）として実施していた、保育サービスに関する相談支援から、利用者支援事業（基本型）として、子育て家庭等から日常的な相談や、子育て支援に関する情報の提供、子育て支援事業や保育所等の利用に当たっての助言・支援を実施し、利用者支援事業の拡充を図るものとする。また、利用者が必要とする支援につながるよう、関係機関との連携・協働の体制づくりを行う。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1376

## 令和 8 年度 当初予算主な事業

事業名	RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種事業		
予算額	15,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>RSウイルス感染症の予防が予防接種法のA類疾病に位置づけられ、令和8年4月より妊婦に対する「RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種」が定期接種化されるため。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>予防接種法に基づき、対象者へ医療機関でのRSウイルス母子免疫ワクチンの個別予防接種を実施するもの。</p> <p>【対象者】妊娠28週～37週に至るまでの者</p> <p>【予算措置】 (事業費) RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種委託料 15,000千円</p>		
担当所属名	こども未来部子育て支援課	直通電話番号	64 - 1377

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	利用者支援（保育コンシェルジュ配置）事業		
予算額	4,271	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○ 目的</p> <p>保育施設等の利用に関する案内や相談を専門員が行うことによって、子育て世帯がニーズに合致した最適な保育所等施設を円滑に利用できるようにし、併せて保育所等入所に係る事務の効率化を図る。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>保育所等施設の利用申請窓口（市役所）に、相談業務経験がある専門員を1名配置し、子育て家庭等から保育サービスに関する相談に応じ、地域における保育所等や各種の保育サービスに関する情報提供や入所に係る案内、利用に向けての支援などを行うもの。</p> <p>・職員給与費 4,271千円</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>		
担当所属名	こども未来部保育幼稚園課	直通電話番号	63 - 1310

## 令和8年度 当初予算主な事業

事業名	乳児等のための支援給付交付事業		
予算額	4,685	千円	新規・拡充 継続の別
			新規
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる乳児等通園支援事業を創設。 (令和8年度より子ども・子育て支援法に基づく給付事業として、全自治体で実施)</p> <p>○ 事業概要</p> <p>【対象児童】 保育所、認定こども園、地域型保育事業所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満の未就園児</p> <p>【実施施設】 保育所、認定こども園</p> <p>【実施方法】 一般型（在園児合同又は専用室独立型）又は余裕活用型</p> <p>・負担金補助及び交付金 1,562千円 ・職員給与費 3,123千円</p>		
担当所属名	こども未来部保育幼稚園課	直通電話番号	63 - 1310